

## ○ 校区寄贈グランドピアノと南界小学校校歌について

### Ⅰ 寄贈グランドピアノについて

昭和 32 年 9 月に南界校区から小学校へ寄贈された。予定では令和 3 年度に老朽化のため廃棄の予定であった。奇しくも開校 150 周年記念直前の令和 3 年度にピアノ専門の教頭が赴任し、修理や調律などの手入れをしっかりとすれば十分演奏できるピアノであることを確認した。それによりこのグランドピアノは廃棄を免れたのである。

製造番号から昭和 7 年（1932 年）に製造されたことが分かった。

当時の値段は 47 万円であった。当時は銀行員の初任給が 18000 円であり、47 万円は大体給料 30 か月分の値段であった。現在の銀行員の初任給が大体 20 万円なので現在の価値としては、20 万円×30 か月=600 万円と考えられる。

令和 5 年 8 月 26 日（土）の 17:00 から、南界小学校多目的ホールで、寄贈グランドピアノを使用し「南界小学校開校 150 周年記念コンサート」が開催された。主催は「南界小学校開校 150 周年記念実行委員会」で、企画・運営・ピアノ奏者は当時南界小学校の教頭であった。参加者は、南界小学校の児童 5 人、中種子中学校の先生、コンサート用に寄贈ピアノを調律してくださった調律師などバラエティーに富んでいた。来場者は 90 人ほどだった。

実行委員長の挨拶をスタートとし、校長の閉会の挨拶までの 2 時間、楽しくてあっという間に過ぎてしまった。



熊野実行委員長挨拶



田畑花菜さん発表



鳥居幸真さんと教頭



ゲスト飛び入りコーナー



黒木月菜さん発表



古市依吹さん・羽玖さん  
兄弟発表

## 2 南界小学校校歌について

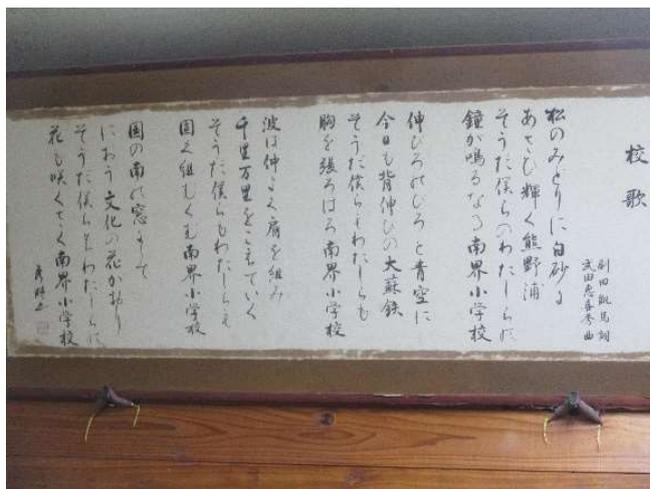
南界小学校校歌は昭和32年11月に制定されている。当時の古市秀一教育長（本村出身）の発案である。おそらく新校歌のお披露目のために、南界校区が先んじて9月にグランドピアノを寄贈したと推測される。

校歌制定時の校長は「第14代上園政義氏」である。上園校長が南界小学校に赴任した時、娘である「和美さん」も同校の2年生に転入した。上園校長が赴任した当時、ルイズ台風の影響（屋久島で最大瞬間風速63m）で校舎が何も残っていなかったようだ。校区の皆さんと共に校舎を建て直すところからのスタートであった。やっとの思いで校舎が出来上がったが、校歌がなかった。子供や校区民のためにも校歌を作らなければならないと古市教育長と上園校長は考えた。【「子供たちが歌いやすいこと」「分かりやすいこと。」に気を付けて作らないと。】と口癖のように言って毎晩歌詞を考えていた。当時2年生だった和美さんは毎晩、横に座ってそれを見聞きしていた。70歳を過ぎた今でも校歌はすべて覚えているようだ。

「この校歌を後世に残すためには作詞者を校長である私でなく、鹿児島県の国語教育で第一人者であり、尊敬する副田凱馬（そえだよしま）先生の名前にしておきたい。」と上園校長は考え歌詞の原案を副田先生に渡し、最終的な仕上げをお願いした。なお、副田先生は当時、鹿児島県で作文教育の第一人者であった。上園校長も国語を専門に実践されていた。また、作曲者の武田恵喜秀先生は、当時鹿児島大学の先生であった。

また、この記事は令和4年7月16日（土）に、福田麻衣子さん（上園和美さんの娘・上園校長の孫）ご夫妻が福岡から南界小学校を訪問し、校長室の上園校長の写真を見て「あ、おじいちゃんだ!」と涙を流す姿を見せてくださったという偶然の邂逅があり、和美さんにインタビューする機会をいただけて作り上げることができた。

南界小学校開校150周年記念にまつわる一連の不思議な、そして心温まるご縁に感謝したいと思うのである。



R4.7.16 福田麻衣子さんご夫妻 来校